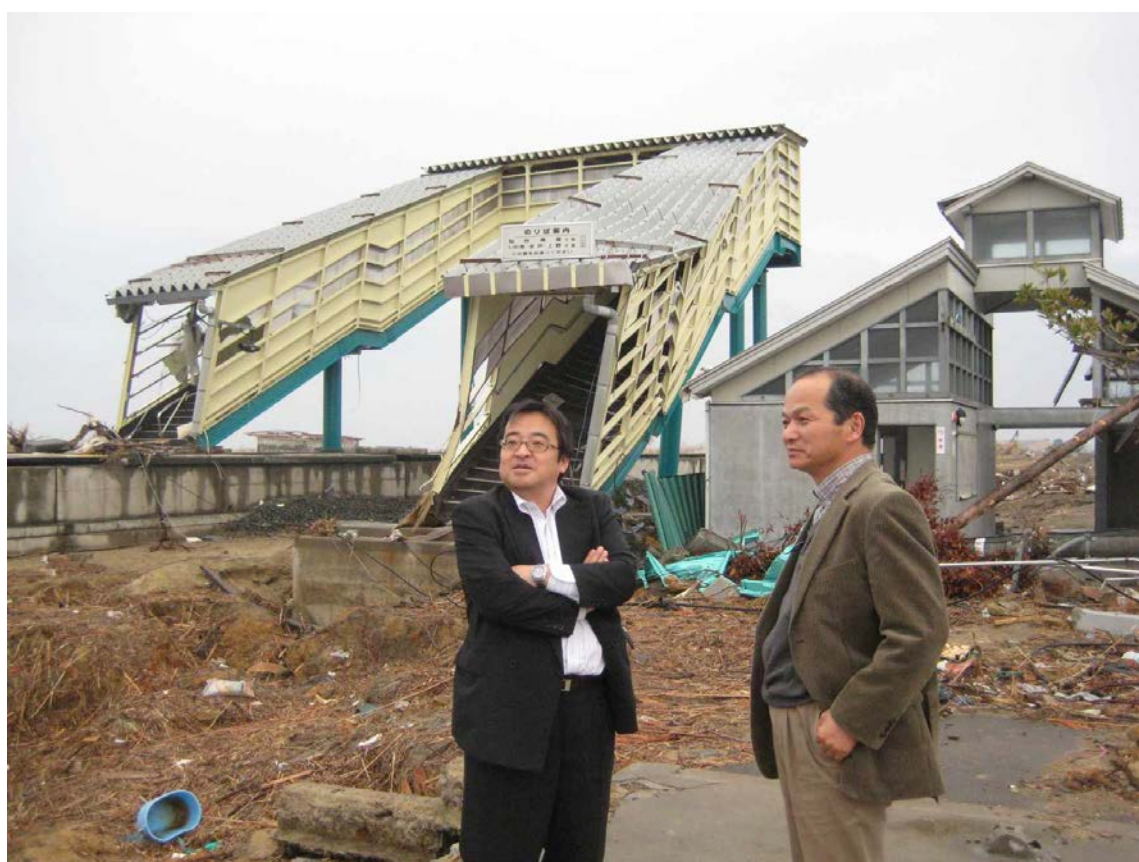


改めて被災地に立つ!

東都生協が加工連と被災地、日向養豚を訪問



震災、津波被害を東都生協風間常務(左)に説明する加工連菊地社長(右)

後ろは駅の跡形も無い常磐線山下駅(宮城県山元町)



あり日の山下駅



唯一残った駅前の山元町総合案内板。町並みも名産イチゴハウスも無い。



不明者「捜索済」の旗。合掌

4月23日、東都生協の風間常務理事が豚肉などを納品する宮城県の株式会社加工連を訪問し、被害を見舞いました。加工連では委託冷凍庫の津波による被災などにより400万円弱の被害が発生しましたが、4月中旬からは操業再開し、度重なる余震による断水、停電を乗り越えて復興に向けて社員が団結して頑張っています。

風間常務は「想像を絶する自然災害に生協ができることは限られているものの、単なる肉企画のような埋もれるものではなく、東都生協としては特別に『東北、がんばれ』の大胆な、長期的な取り組みが必要」と最大限の被災地支援を行うことを表明しました。



左から加工連菊地社長、東都生協風間常務、日向養豚場の日向さん。「がんばれ!東北」

4月24日、東都生協風間常務は津波しがいはいは全く無いも内陸の古川市の日向養豚場を訪問しました。

津波の被害の無かった内陸であってもね地震によって、エサのタンクの底が抜けたり、電力確保には大変な苦労がありました。一番の苦労は港が被災してのエサ不足でした。「とにかく豚、生き物を殺さないために、通常の6割のエサでどうやって生き物の命を守るか必至でした」と苦労を語ります。仙台市のと畜場が被災し、1ヶ月以上と畜できず、豚者が満杯となったことも大きな問題でした。

東都生協の風間常務は、「今後、通常企画ではなく、東北の被災を特別な企画として産地支援を組合員と一緒に考えたい」と生産者への支援策を提案しました。

被災地での報告は、マスコミ、現地報告でたくさん目にしています。私たちは記者や評論家ではありません。今さら被害規模、困難の現場のひとつひとつの事象の詳細な報告などは私たちの役割ではありません。

「生きる」、「次をつくる」の現地との本格的、実践的一致点こそが大切であり、日販連通信は被害や実態の報告文書ではなく、突き進んで皆様と作りあう「設計書」の提案が役割です。今は、過去や現状の被害報告ではなく、実態の共有化を越えて、何をどうするという前向きな報告と提案が求められています。「次に向けて私たちが何をするか、動く提案」の報告にします。

全国から支援物資 100 トン！

農民連の熱い連帯を示す

震災発生から1か月余。全国の農民連組織は機敏に対応して、大量の支援物資を被災地に届けてきました。3月13日、山形県連がいち早く宮城県に入り、県連の鈴木事務局長の無事を確認して支援物資を届けたのを皮切りに、4月13日までに、集計できているだけで全国36都道府県連から総重量で約100トンの救援物資(金額に換算すると2,500万円超)が送られました。その内容は以下のようなものです。

- ・お米：30トン、
- ・畜産品：約2トン(豚肉450キロ、卵1,650キロ(約2.8万玉)など)
- ・野菜類：約27トン(ジャガイモ6.2トン、玉ねぎ5.5トン、キャベツ5トンなど)
- ・果物：約19トン(りんご5.3トン、柑橘13.5トンなど)
- ・加工品：約1.5トン(手作り味噌950キロ、醤油250リットル、梅干300キロなど)
- ・日用雑貨：軍手1,000組、マスク28,800枚、トイレトペーパー5,000個など
- ・その他：自転車14台、洗濯機6台など(詳細は数回に分けてお知らせします)

送り方も多彩です。関東ブロックは、3月18日と4月7日に4トン車2台を仕立てて現地に派遣。近畿ブロックは3月21日と4月12日に10トン車、四国ブロックは4月6日に13トン車と、ブロックで協力して大きな量の物資をまとめて送りました。秋田、山形、新潟、千葉、神奈川の各県連は、役員が自ら奔走して何度も現地に通っています。杵塚歩青年部長も物資を満載した車で福島・宮城県に入りました。

その他の県も、共同の支援便(つばさ流通)に荷物を集めたり、宅配便を利用して直接被災地へ送るなど、条件に合わせてさまざまな支援を行ってきました。どこの取り組みでも共通していたのは「みんなに呼びかけると、乗り切らないほどいっぱい集まる」という声です。仲間たちの熱い連帯の気持ちが伝わってきます。

また、機材一式を持ちこんでの豚汁の炊き出しなど、農民連ならではの支援は、避難所で暮らす被災者のみなさんをあたたかく励ましています。

しかし、小さな避難所、自宅避難の方々などにはまだまだ米や野菜、果物などが行き届いていません。引き続き支援を強めましょう。

香港からの

「心ひとつに がんばろう！」メール

味珍味有限公司 淑

中塚先生

- 1, 希望你们生活快些好起来,很擔心!!
- 2, 我放大假去中國(福建)4月21日回港,希望到時你們日本有好消息

ATTN 皆さま

香港味珍味有限公司 松永

本日フランキー・ウーとデニス・ウーがセントラルに行きまして、香港立法局議員のトミー・チョン様と日本食及び日本輸入食品を盛り上げる為のミーティングを行いました。

ミーティング後に参りました食事に於いて、セントラル地区の和食レストランは若干お客様が戻ってきているのではないかと感じを受けました。

高級和食店ですが、軒並みどこもほぼ満員で、お店によっては並んでいる所もあったようです。

又、情報としましては新聞、雑誌等が当初日本の放射能汚染を叩き過ぎた為和食屋さんが売り上げを落とし、結局は広告を出すのを控えてしまった事で、新聞社、雑誌社が広告費収入を大きく減らしてしまい、最近をあわて始めているとの事です。

こうした事から今後は意外と業界を擁護した様な記事を増やして来る事も考えられます。

又、香港政府、料理店協会、輸入業協会他、香港の業界、組合等も協力しあって、イベント等も検討中です。

どちらにしましても ようやく、少しでも和食レストランには希望の光が見えてきたのではないかと思います。

この輪を我々の協力の下に、鮭屋さん、魚屋さん、日系スーパーの売り場、肉屋さん等に広げて行きましょう。

香港の人も本当は食べたいのを我慢してるんだって!!

何かきっかけがあれば必ずまた戻ってきてくれるはず。

みんなで一緒に頑張ろう!!

日本食レストラン、日本の物を輸入して売っているみんな。
業界のみんな。 頑張ろう。

■まず東電が全面的責任を果たすべきです。

～立正大学浦野広明教授・税理士の主張

「週刊金曜日」の4月22日発行で、浦野教授はご専門の立場から問題提起をしています。浦野教授からいただいた資料を添付しました。

原子力事業者に対して損害賠償責任から1工場当たり1200億円の支払を義務付けています。そしてしばしば「国が担保する」と言いますが、これ自体は当たり前ですが国が支払う賠償金の原資は税金です。「原子力会社役員、原子力行政を推進してきた政治家、安全神話を振りかざした『識者』の責任」も追及しています。安全神話で推進してきた人々は今、福島県民にどのように釈明するのでしょうか。

ところで、東京電力はいくらの支払い能力があるのか、4兆円以上の原資があります。昨年度末の財務諸表を見て皆様はどのように分析しますか？